

海の人材育成に関する国際シンポジウム

2016年7月19日～20日 | 日本・東京

セッション6：分野横断的な教育・トレーニング

Photo credit: Nick Hall

西インド諸島生物多様性基金

バハマ、ナッソー

1) 当プロジェクトの主眼点

西インド諸島生物多様性基金（CBF）とは、西インド諸島の 8 カ国（アンティグア-バーブーダ、アンティグア、バハマ、ドミニカ共和国、グレナダ、ジャマイカ、セントキッツネヴィス、セントルシア、セントヴィンセント、グレナディン諸島）で現在運営されている地域基金である。CBF は、加盟国にある国内保護領域システムまたは環境上重要なその他の領域で、生物多様性の保全、保護および維持のために重要な役割を果たす支援活動に持続可能な資金を提供している。この基金は、地域の自然保護資金の不足を埋めるために設立された。この地域で当初設立された 8 カ国の国家自然保護信託基金（NCTF）とともに、CBF は、生物の多様性に関する条約、西インド諸島チャレンジ・イニシアティブ、および国内自然保護の優先事項に基づくそれぞれの目標の達成において各国を支援するために、持続可能な資源を提供する自然保護のための西インド諸島持続可能資金調達機構を構成する。

この機構の設立は、自然保護のために西インド諸島地域の能力を開発し、資源を集め、現地の国家レベルで必要な能力を高めて環境と自然保護の計画を進展させるために講じられた主な措置の 1 つである。NCTF は、自然保護に関与し、効果的なプロジェクトの実施のために対応能力を高め、現地の市民社会と政府機関を支援するために、複数のセクター（政府、市民社会および民間セクター）を集合させることにより、国家レベルとコミュニティ・レベルで触媒のような役割を果たす。

2) 参加組織その他のパートナー

この取り組みは、非営利組織として 2012 年に設立された CBF 自体によって主導される。直接パートナーには、CBF から資金調達を受け取る 8 カ国の NCTF（各加盟国に 1 つの基金）が含まれる。援助資金提供者は、ドイツ復興金融公庫（KfW）経由のドイツ政府、ザ・ネイチャー・コンサーバンシー（TNC）、世界銀行および国連開発計画（UNDP）経由の地球環境ファシリテーター（GEF）である。戦略的パートナーには、以下が含まれる。

- 西インド諸島チャレンジ・イニシアティブ - 持続可能な金融機構の設立を通じて、2020 年までに加盟国の海洋環境と沿岸環境の最低 20% を効果的に保護することを目標として、西インド諸島の政府により主導される取り組みである。CBF は、この機構で中心的な役割を果たし、地域全体で政治的能力を高めることにより、この取り組みを支援することに努めている。

- RedLAC（ラテンアメリカと西インド諸島の環境基金ネットワーク） - NCTF に指針とツールを提供する自然保護信託基金のネットワーク。

3) 能力開発において効果が証明された活動やツール

CBF とその援助資金提供者は、現在および将来の支援を通じて、十分に機能するまでの進展過程において NCTF に財務支援と技術的専門知識を提供している。支援は、設立に必要な NCTF の法律文書（定款、内規など）の作成と、NCTF の資金提供に関する規則やポリシーの策定において提供された。また、NCTF の各理事会に対して、研修セッションが実施されている。各 NCTF で持続可能な資金調達機構を設立するための技術支援も提供されている（この機構は、CBF によって提供される資金に加えて、長期的な資金調達源を各 NCTF に提供する）。今日までに、5カ国で NCTF が法律上設立され、それぞれの業務文書を作成中である。

4) 特に、継続的に能力開発に取り組むことおよび／または同様のプロジェクトを他の地域で展開することに関連して経験した困難な課題

新しい自然保護信託基金の設立は、簡単な作業ではない。西インド諸島には少数の自然保護信託基金がすでに存在するが、このような基金が地域内でまだ比較的新しいため、作業は一層複雑になる。これまでのところプロセスは大きく進展しているが、政府と市民社会のビジョンとニーズを調整することは困難であった。また、基金を設立するためのすべての公的な手続きの実施においては、プロセスが完了する日程が CBF や NCTF の制御の範囲外であったため、いくつかの困難に直面した。たとえば、基金の登録には予想よりも長い期間がかかったため、各 NCTF の能力開発活動を含むプロセス全体が遅延した。

5) このプロジェクトの次の段階

CBF は、自然保護のための西インド諸島持続可能資金調達機構の統合を目的とする 2020 年戦略計画を策定中である。戦略計画の主要な側面の 1 つは、CBF の支援を受ける NCTF が、確実に設立され、運営されるようにすることである。これにより、この機構の持続可能性が確保され、この機構は地域の自然保護に貢献できる自然保護信託基金の効果的なネットワークとなることができる。また、CBF は、気候変動（特に適応）と地理的範囲の拡大など、その他の領域も含まれるように目的の範囲を拡大することを検討する。

www.caribbeanbiodiversityfund.org